

平成24年度
実施事業

事務事業名	防災資機材購入費補助事業
-------	--------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	1	総合防災体制の整備
小分類	2	防災体制の確立
主要な施策	5	⑤地域における防災資機材の整備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	総務グループ
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	自主防災組織における防災活動に要する資機材の購入整備に対して補助金を交付することにより、地域における自主防災意識の高揚を図り、防災活動を積極的に推進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱に基づく資機材を、自主防災組織の規模に応じて購入費を補助した。 【事業実績】 ・補助金交付自主防災組織数 1 団体 ・補助金交付額 298,144 円 【対象資機材】 情報収集伝達用具：トランジスターラジオ、トランシーバー、メガホン 消火用具：消火器、三角バケツ、消火用バケツ 救出用具：片刃ノコギリ、マサカリ、チェーンソー、ナタ、一輪車、小型発電機、ジャッキ、スコップ、パール、ハンゴ、カケヤ、大ハンマー、ツルハシ、救命ロープ、ハンディライト、ヘルメット 救護・避難用具：担架、リヤカー、救急セット、テント、天幕、防水シート、避難誘導旗、安全誘導灯、簡易ベッド、カセットガスコンロ、給水用ポリ容器
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	防災資機材購入整備費補助事業は、自主防災組織結成の一助となることから、当該補助事業のあり方を検討しながら、今後も継続し事業を進める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市地域防災計画、登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円			1,100	2,700	300
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		299	1,219	2,800	300
事業費 合計			0	299	2,319	5,500	600

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 自主防災組織率	%	目標値	75	80	83	84	85
			実績値	76	77			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
自主防災組織は平成24年度末で町内会の約8割程度が組織を結成しており、残りの約2割の未結成町内会等に対し組織結成について、働き掛けを行っているが、なかなか自主防災組織結成の機運が高まらない。	自主防災組織未結成町内会に対し、市と連携した防災研修会や防災訓練を開催するなど各種機会を捉えて、自主防災組織の重要性を訴え、町内会会員の防災に対する機運を高めたことから、平成25年度には、新たに3組織が結成される予定である。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 市では地域ごとの災害対応が困難であることから、自主防災組織の育成は重要であり、市が補助することは妥当と考える。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="checkbox"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 災害時に市が直接支援することが難しいため、自主防災組織を結成し、「自助」「共助」の強化を図りたい。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 資機材の選定において、必要最低限のものを選定しているため、削減は難しい。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input checked="" type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 自主防災組織の組織率が伸びている。

①担当グループによる評価 《Check》

改善	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	当該補助制度は平成9年度から事業実施しており、整備した防災資機材が経年劣化により更新が必要となっていることから、補助制度のあり方を検討する。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	本制度の在り方について検討し、補助要綱の見直しを行うこと。 また、効果的な自主防災組織結成の在り方についても検討すること。
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

改善	備考	地域における防災活動の推進を図るため、現行制度上1回限りの補助から、2回目以降の補助が受けられるよう、支給要件や補助率等について制度の見直しを図るとともに、自主防災組織の全体会議を開き、購入した資機材を活用した防災訓練内容を発表する等地域における更なる防災意識の向上を図ること。
-----------	----	---

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)